国立研究開発法人 科学技術振興機構 Japan Science and Technology Agency
RISTEX 社会技術研究開発センター Research Institute of Science and Technology for Society

トラウマインフォームドケアを実践するための取り組み

様々な傷つきを抱える当事者のトラウマを軽減できるよう、
トラウマについて十分な知識を持って支援を行えることを目指して、
医療、地域、WEB の領域で実践的な研究開発を進めました。

研究開発プロジェクト

トラウマへの気づきを高める“人−地域−社会”によるケアシステムの構築

研究代表者
武庫川女子大学短期大学部
心理・人間関係学科 准教授
大岡 由佳

概要

性暴力被害、虐待、その他様々な暴力行為などは、時に当事者を孤立させ、依存症を含む様々な精神障害、望まない妊娠など、心身への悪影響や生活の質の低下を招きます。これらの人々への「公」の支援は、縦割り施策の中、性の語りにくさや当事者の援助希求力が低いといった課題のために、適切な支援につながらない現状にあります。本プロジェクトでは、トラウマインフォームドなケア（TIC）を基盤の発想に、地域の社会的資源の有機的な連携や、トラウマに感度の高い専門職養成を進めると同時に、「私」空間からもアクセスが容易なインターネットを活用することで、彼･彼女らに適時適切に対応できる「公」「私」をつなぐケアシステムを構築しました。

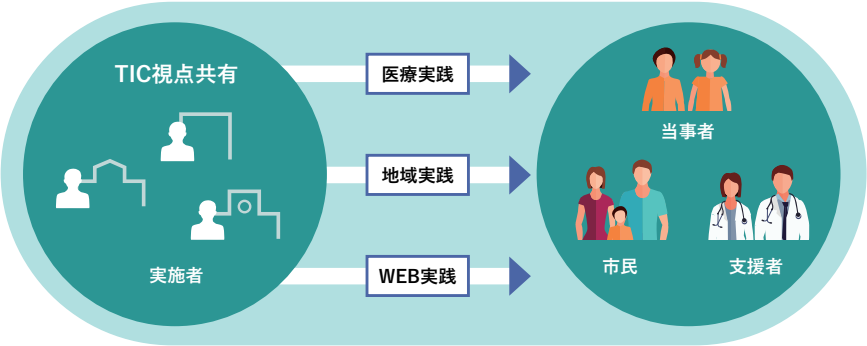
研究開発の成果

プロジェクトでは、TIC の視点を土台に、医療実践、地域実践、WEB 実践に分けて、トラウマインフォームドな研究開発を行いました。それぞれの研究開発領域において、Realize（トラウマの影響を理解）し、Recognize（トラウマのサインに気づく）して、Respond（トラウマインフォームドケアの実践）を行っていくこと、Resist re-traumatization（再トラウマを招かない）ことを目指しました。本プロジェクトの強みは、何よりも現場の“困ったこと”“困った人”に対して、どのように関与していけるかを現場から考え、発信していくことにありました。決して上から目線ではなく、当事者とともに、どのようにしたら、よりよい支援現場を作り上げることが出来るかについて、研究開発を行ってきました。

成果の活用場面

プロジェクトの成果は、医療、地域、WEB と多岐の領域にわたる実践となるため、様々な場面（学校、司法、医療機関、民間被害者支援団体等）で活用できます。また、TIC の視点の共有自体は、社会全体で共有していくことが可能な考え方であり、活用することで、躊躇わずに“助けて”と SOS を出せる、当事者のその SOS に支援者が気づき、受け止め、適切な機関につなぐことのできる社会を目指すことができます。

TIC 視点共有のターゲット



TICCこころのケガを癒やすコミュニティ事業
https://www.jtraumainformed-tic.com/

成果の担い手・受益者の声

担い手

生徒・保護者との対応上の問題に困難を感じていたが、TICを学んでからは「何か気になる」などと考えるようになった。さらに歩み寄って話をすることで、違う一面が見えてきて、対応解決への糸口が見えてくることもあった。（中学校教員）

受益者

これまでは困難を抱えているかもしれない患者に出会ってもどうしていいかわからず正直面倒に思っていたが、これからはつなげる先があるということで、安心して対応できるという楽な気持ちで対応できるようになった。（医療従事者）

目指す社会の姿／今後の課題・展望

兵庫や京都を拠点とし、それらの地域を中心に成果を上げてきました。性暴力支援や女性支援などの分野を特定して TIC の視点活用の取り組みの雛形を提案してきました。領域を特定すると実践的な展開ができますが、地域を耕す中で TIC の視点が共有される性質があるため、それぞれの地域で熱心に本プロジェクトの取り組みを真似て取り組む人や組織がないと全国への展開に至りません。そのため、今後は、プロジェクトの TIC の基盤部分の社会への定着を行うべく、「研究開発成果の定着に向けた支援制度」を利用しながら、オンラインによる 領域横断的な TIC 視点の共有などを行う予定です。全国どこからでも TIC の視点を学べるツールの開発を行い、各領域で活用して頂けるよう取り組みます。

内容に関する問い合わせ先 | こころのケガを癒やすコミュニティ事業 Trauma Informed Care/Community TICC 事務局 [連絡先] jtraumainformed@gmail.com

事業に関する問い合わせ先 | 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）社会技術研究開発センター（RISTEX）[連絡先] pp-info@jst.go.jp
成果の詳細はウェブサイトで https://www.jst.go.jp/ristex/pp/project/h29_1.html

本研究開発は、国立研究開発法人科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業（社会技術研究開発）「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域による研究開発成果の一部である。
【発行元】JST/RISTEX「安全な暮らしをつくる新しい公／私空間の構築」研究開発領域（2021 年 6 月時点の情報です）